

第5回 阿佐東線DMV導入協議会

令和元年12月24日(火) 15:15～
徳島県庁 10F 大会議室

【議事】

1. 「DMV導入」の目的
2. これまでの取組み
3. 協議事項
 - (1) DMVバスモード・運行ルート(案)
と決定までのスケジュール
 - (2) 安全性の証明と今後のスケジュール
 - (3) 事業費の見込み
 - (4) 全体スケジュール



1. 「DMV導入」の目的

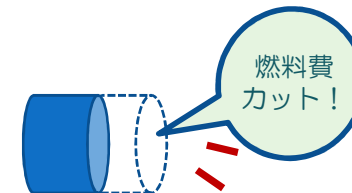
「DMV導入」の目的

- ① 阿佐東地域の活性化に貢献
DMVは、「車両自体が観光資源」となることから、「新たな人の流れ」をつくり観光振興に大きく寄与



- ② 地域公共交通の維持・充実に貢献
- (1) シームレスな交通体系の実現
鉄道とバスのシームレスな交通体系の構築は、高齢化が進む阿佐東地域に最適
 - (2) 阿佐海岸鉄道(株)の経営改善
DMVは、現行のディーゼル車と比較し燃費が良く、維持費の削減に期待

DMV



気動車



- ③ 防災面の強化
DMVは、「南海トラフ巨大地震」などの大規模災害発生時において、残った線路と道路をつなぐことで「交通機能の維持」が図られ、被災者支援をいち早く行うことが可能



2. これまでの取組み

これまでの取組み①

○車両製作

- ◆平成29年 8月 車両製作開始
- ◆平成30年 1月 「愛称」「デザイン」の公表
 - 第1号車両 「未来への波乗り」
 - 第2号車両 「すだちの風」
 - 第3号車両 「阿佐海岸維新」
- ◆平成31年 3月 第1号車両完成！お披露目イベント開催
- ◆令和 元年10月 全車両の完成記念イベント開催



DMV3台完成記念イベント」(R1.10.5)

○機運の醸成(DMVイベント)

- ◆令和元年10月～
 - ・徳島ヴォルティスホームゲームや海陽町商工産業祭での展示
 - ・海陽中学校総合学習での活用
 - ・京都鉄道博物館での展示 など

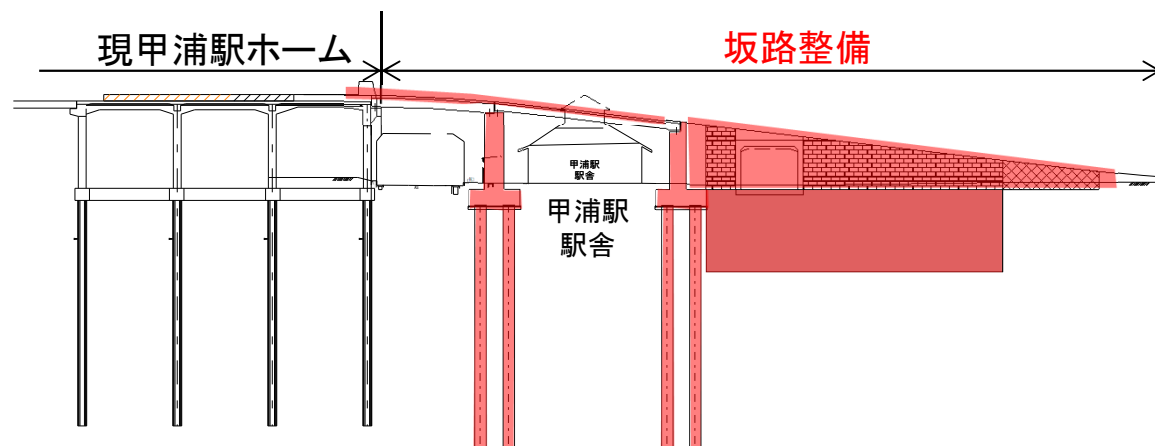


京都鉄道博物館でのPR(R1.11.30 - 12.22)

これまでの取組み②

○駅舎改築

- ・平成30年秋 甲浦駅の坂路(線路と道路の接続部分)の下部(橋脚など)工事着手
- ・令和 元年夏 上部(橋桁など)工事に着手、令和2年春に完了予定



甲浦駅坂路縦断図



甲浦駅工事の様子(R1.12.4撮影)

○信号設備等

<DMV運転保安システム>

- ・「車上装置」は、車両製作と合わせて整備済
- ・「地上装置」は、現在、製作中

<JR牟岐線・阿波海南駅－海部駅間の編入>

- ・阿佐東線への編入に向けた『合意書(JR四国-阿佐海岸鉄道)』を締結(R元年12月下旬予定)



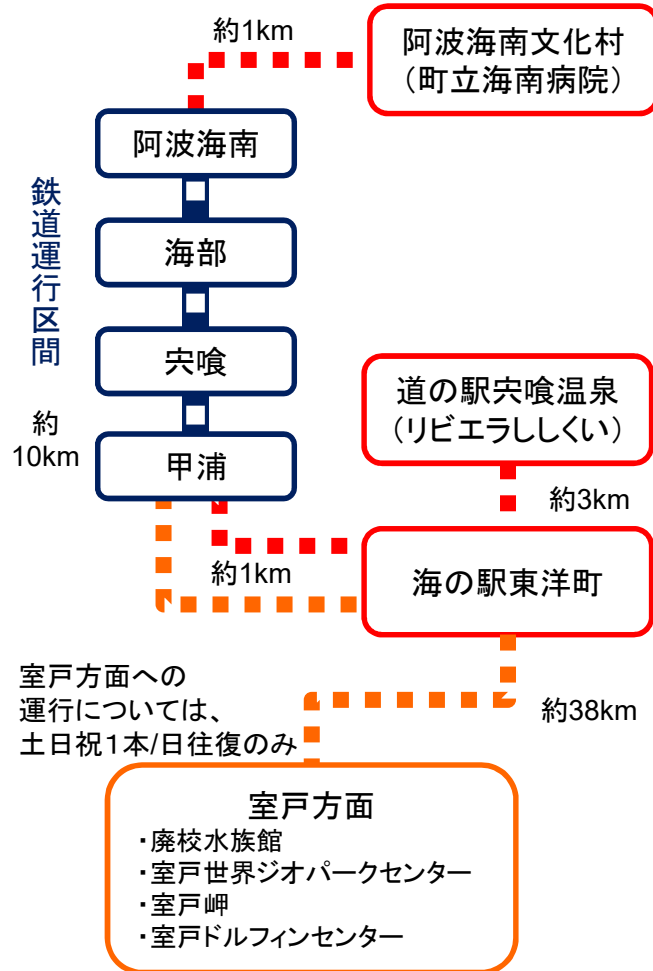
車上装置

3. 協議事項

- (1) DMVバスモード・運行ルート(案)と決定までのスケジュール
- (2) 安全性の証明と今後のスケジュール
- (3) 事業費の見込み
- (4) 全体スケジュール

(1)DMVバスモード 運行ルート(案)

- ・DMVのバス運行は、阿佐海岸鉄道(株)が運行
- ・「運行管理者」や「第二種運転免許」などの資格を取得済
- ・「料金」と「運行ダイヤ」については、既存事業者と調整中
- ・地域商工会や観光協会と連携し、「宿泊・食事」や「お土産」とパッケージ化した企画商品を開発中 ※あさチェン推進会議



※《参考》 あさチェン推進会議

- ・目的 DMVの運行を契機に阿佐東地域の観光振興を図るため、令和元年6月に設立
- ・構成員 地域商工団体や観光協会など(オブザーバーとして、自治体も参加)
- ・検討部会 観光戦略部会、お土産飲食部会、広報誘客部会、現行車両活用部会

お土産飲食部会【お土産品サンプル(案)】



ふるふる



あまべ藍そうめん

じゃこ煮



プリン



ラスク

藻塩



フルーツマト

阿波尾鶏カレー



鯖瀬大福

いろいろ

運行(バス)ルート決定までのスケジュール

阿佐海岸鉄道が「バス事業」の許認可を受けるためには、道路運送法に基づき、「地域公共交通会議」において「運行ルート」や「ダイヤ」「料金」などの合意形成を図る必要がある。

DMVの運行(バス)については、次のとおり手続きを進める予定。

- ◆第1回地域公共交通会議(R2年2月頃)
 - ・運行ルート(案)
- ◆第2回地域公共交通会議(R2年5月頃)
 - ・ダイヤ(案)
 - ・料金(案)
 - ・JR牟岐線、阿佐東線の運休による「バス代行」(案) など

【地域公共交通会議とは】

地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保
その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する会議

項目	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
バスモードの手続き	第1回 協議会 地域公共交通会議 ルート(案)	第2回 協議会 地域公共交通会議 ダイヤ(案) 料金(案) 事業申請 → 認可
運休期間 (JR牟岐線・阿佐東線)	JR牟岐線(牟岐-阿波海南) 通常運行 JR牟岐線(阿波海南-海部) 通常運行 阿佐東線(海部-甲浦) 通常運行	性能試験 ← 習熟訓練 → 運休(バス代行) 運休(バス代行) 編入 運休(バス代行) 運休(バス代行) 通常運行 運休(バス代行)

運行開始

通常運行

DMV

DMV

(2) 安全性の証明と今後のスケジュール

鉄道事業は、営業運行に向け「安全性を証明」する必要がある、通常の鉄道は過去の実績に基づき、「性能試験の手法」や「試験結果の基準値」などが、明確化されている。

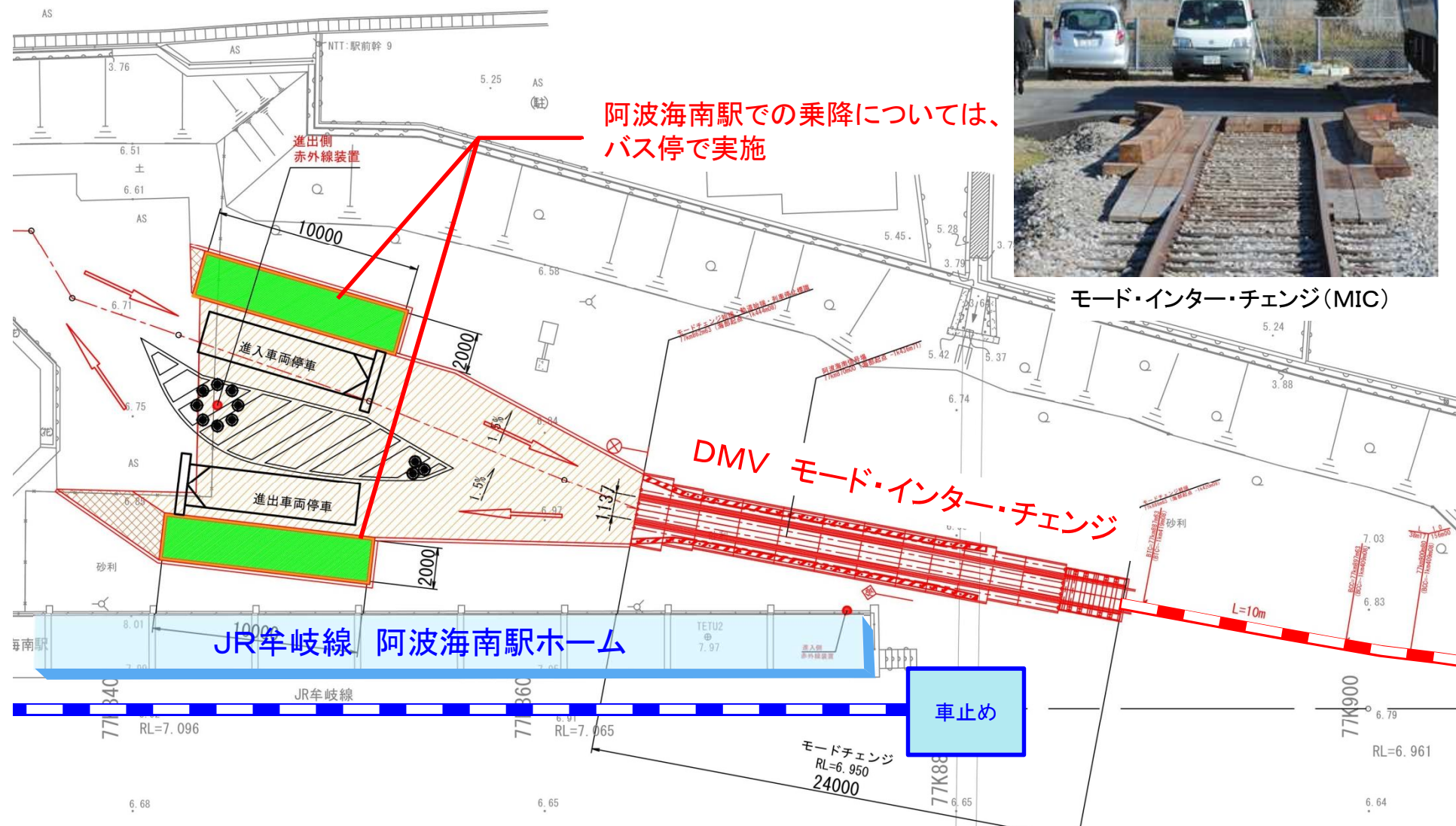
一方、「初の本格営業運行」となることから「安全性を証明」するため、国土交通省等との協議において、次の手法・スケジュールにより実施することとした。

○「安全性証明」のスケジュール(案)

- ◆R2年1月頃 ・書面による安全性の証明
- ◆R2年夏頃 ・性能試験(試験項目、実施方法など)内容の確認
 ・性能試験の実施
- ◆R2年秋頃 ・性能試験結果の提出 (安全性の確認)



阿波海南駅計画図



阿波海南駅での乗降については、
バス停で実施



モード・インター・チェンジ (MIC)

現場施工時期
2020年夏頃(性能試験直前)

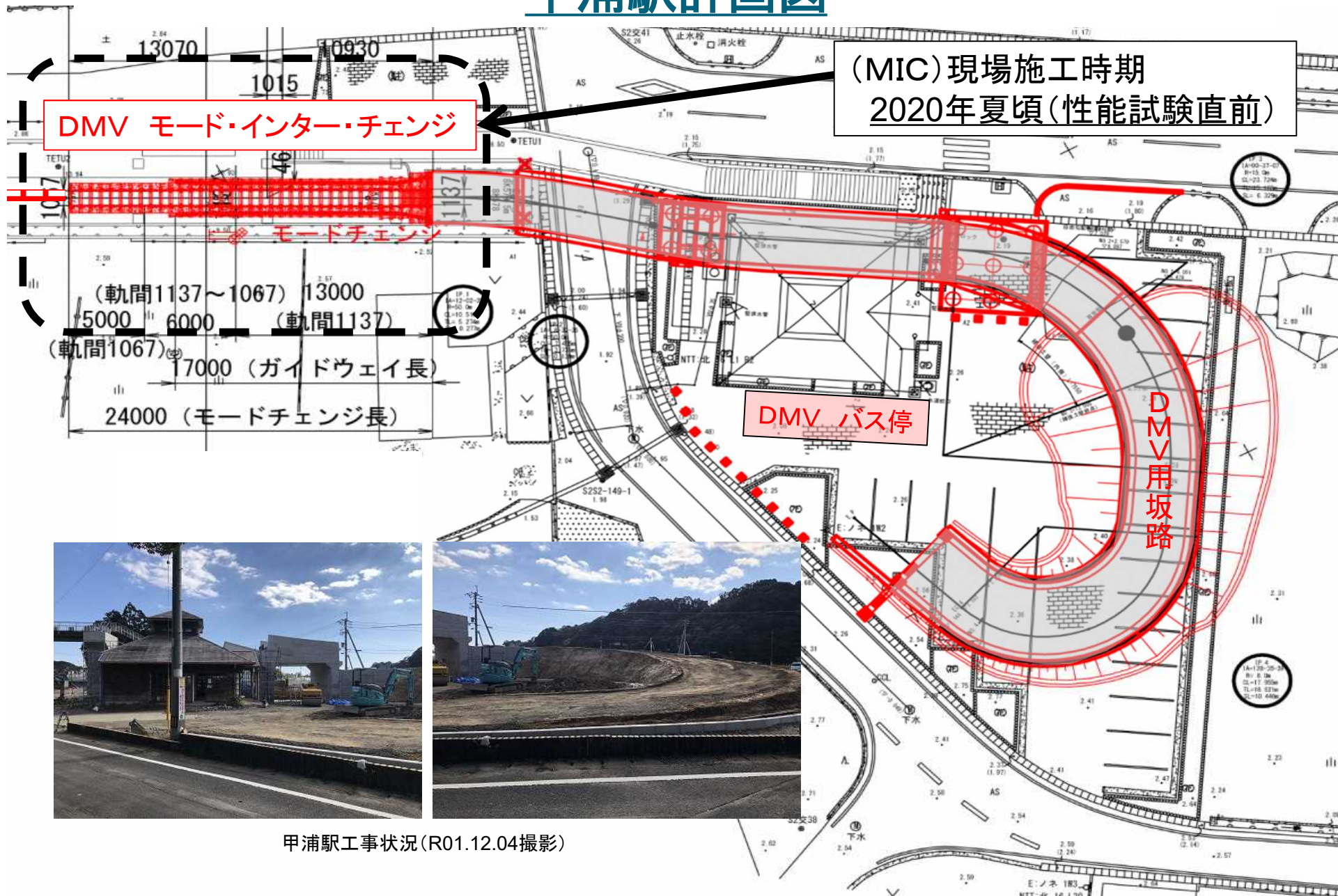
甲浦駅計画図

(MIC)現場施工時期
2020年夏頃(性能試験直前)

DMV モード・インター・チェンジ

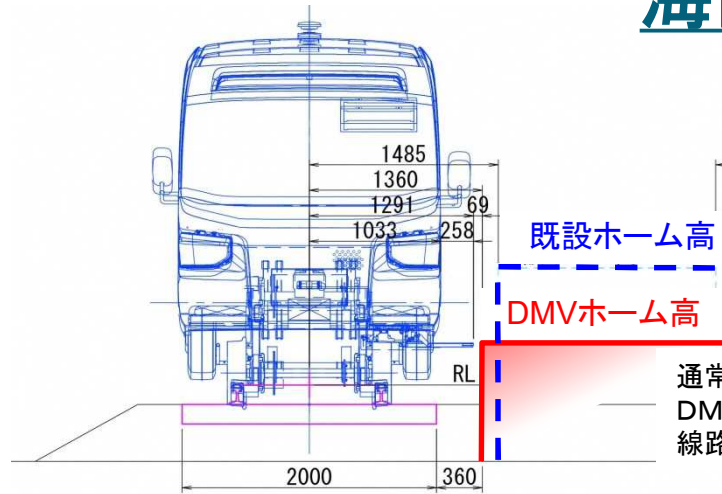
DMV バス停

DMV用坂路



甲浦駅工事状況(R01.12.04撮影)

海部駅計画図



既設ホーム高

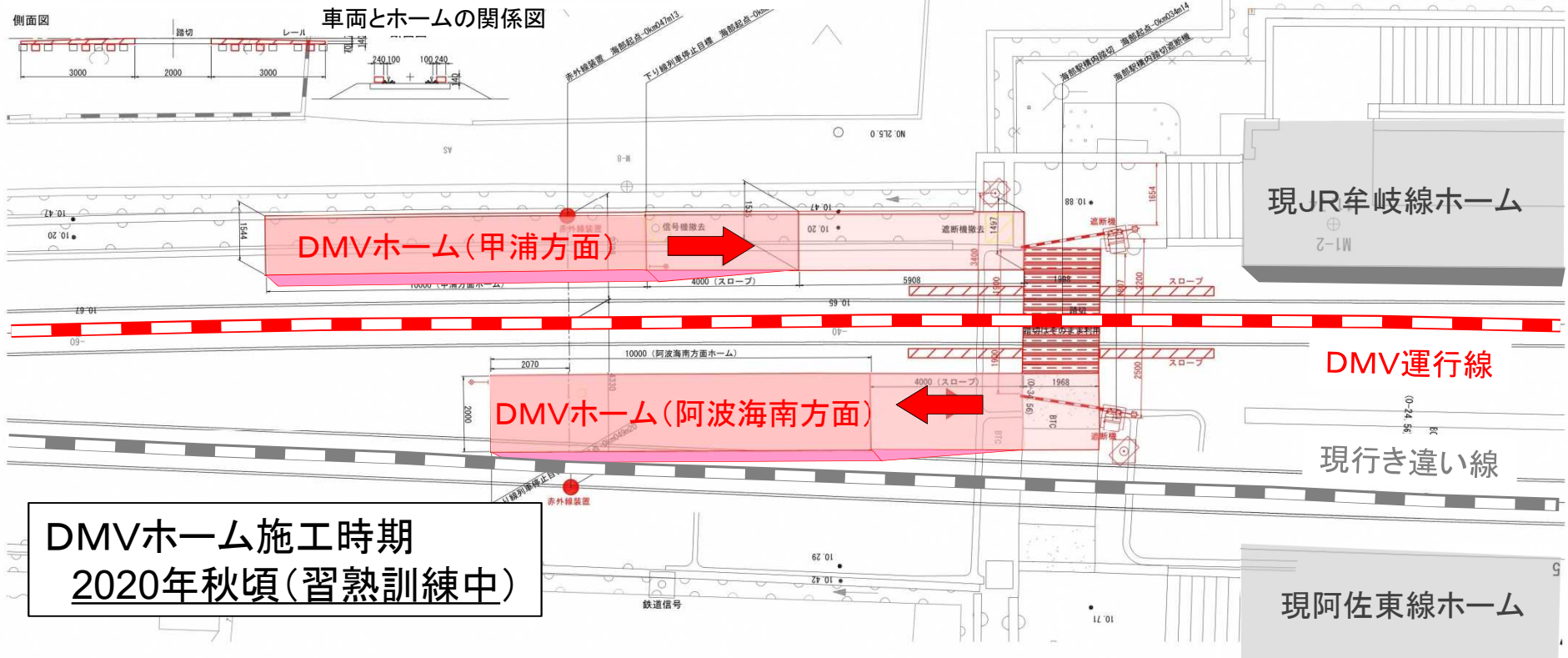
DMVホーム高

通常車両用のホーム(既設)と比べDMVホームは、低く、線路側に張り出している



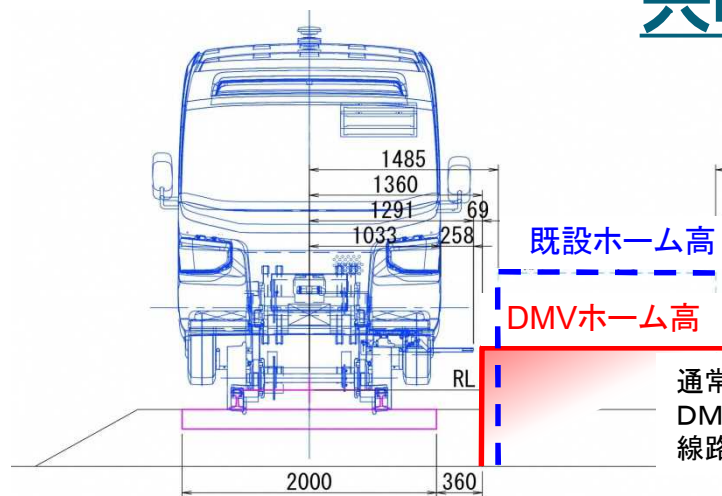
遮断機(現海部駅)

側面図 車両とホームの関係図



DMVホーム施工時期
2020年秋頃(習熟訓練中)

穴喰駅計画図



既設ホーム高

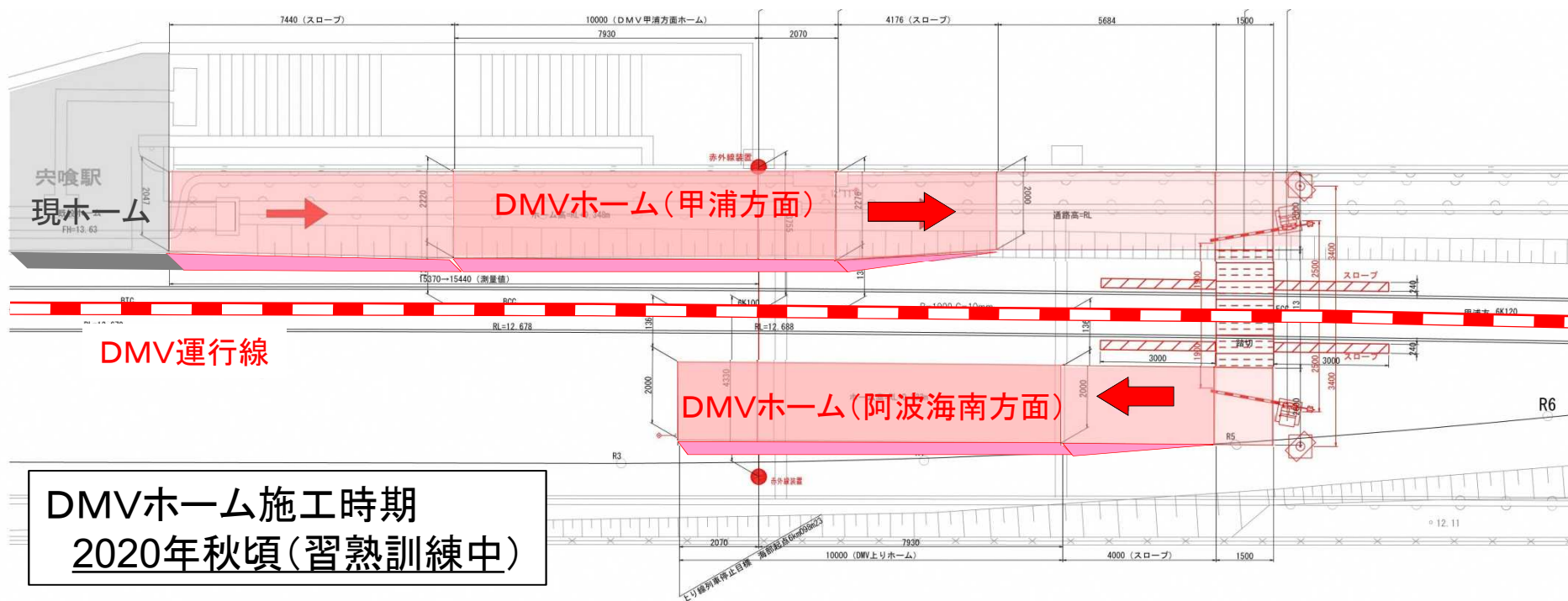
DMVホーム高

通常車両用のホーム(既設)と比べDMVホームは、低く、線路側に張り出している

車両とホームの関係図



遮断機(現海部駅)



DMVホーム施工時期
2020年秋頃(習熟訓練中)

今後のスケジュール

項目	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)			
安全性の 証明・確認	▼年度内 書面での安全性の証明	▼夏頃 性能試験項目の提示 ・試験項目 ・実施方法 など	▼秋頃 性能試験結果の提出	安全性確認	
車両製作	DMVわくわくイベント (車両を活用したPR)	性能試験 準備	現地性能試験	習熟訓練	
駅舎の改築 (MIC・ホーム 等)	甲浦駅坂路工事	MIC 整備	DMV ホーム 整備	運行開始	
DMV運転 保安システム	機器製作	現場 設置			
運休期間 (JR牟岐線・阿佐東線)	JR牟岐線(牟岐-阿波海南)	通常運行	運休(バス代行)	運休(バス代行)	通常 運行
	JR牟岐線(阿波海南-海部)	通常運行	編入 運休(バス代行)	運休(バス代行)	DMV
	阿佐東線(海部-甲浦)	通常運行	通常運行	運休(バス代行)	DMV

(3)事業費の見込み

新たな増加要因

安全性の証明

- ・「安全性の証明」については、当初、JR北海道が開発した技術の範囲内での実用化であることを示すことで対応することとしていた。
- ・「ベース車両のモデルチェンジ」や「線路条件の違い」があることから、関係機関と協議を重ねた結果、
初の本格営業となるDMVは、(公財)鉄道総合研究所などに意見を求め、「安全性の証明」をしていくことが必要となった。



性能試験の様子(H23年度)

駅舎改築等(安全対策の追加)

- ・昨今のホーム上における「列車との接触事故」の増加を受け、「一層安全な鉄道交通を目指す」ことが求められている。
- ・DMVの本格営業運行に向け、安全性を強化するため、遮断機・警報器など更なる安全対策を実施する。



遮断機(現海部駅)

変更後の見込み

○約13.9億円(現行約13.0億円)

◆安全性の証明 : 約0.4億円(新規+約0.4億円)

◆車両製作 : 約3.9億円

◆駅舎改築等 : 約3.8億円(新規+約0.5億円)

◆信号設備等 : 約5.8億円

(4) 全体スケジュール

R元.12月現在

項目	概算事業費	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
安全性の証明・確認	約 0.4億円			事前協議	安全性の証明・確認
車両製作	約 3.9億円		車両製作	操作訓練	性能試験 習熟訓練
駅舎の改築 (MIC・ホーム 等)	約 3.8億円	詳細設計	現場施工(坂路・MIC・ホーム)		東京オリパラ ▼
安全対策 設計・施工 (線路、踏切 等)				申請認可	
DMV運転 保安システム	約 5.8億円	検討・設計など		施設整備	性能試験
JR牟岐線の編入			事前協議	合意	契約 バス代行
バスモードの検討	—	運行計画 検討	「関係自治体」、「既存事業者」 などとの調整		事業申請 → 認可
機運の醸成 (DMVイベント)	—	DMV わくわくイベント	DMVわくわくイベント (継続)	DMVわくわくイベント (継続)	DMVカウントダウンイベント (試験運行見学会など)

運行開始

「世界初」の本格営業運行に向け、「総仕上げ」!!